

水道事業ローリングシート(個別事業点検表)

目指すべき方向性		強靱	基本政策	2 安定・快適な水道水の供給	施策	2-2 配水管網の強化	事業	2-2-2 効率的な管路の拡張・充実	担当課	上水道建設課
総事業費		7,560,290千円	事 前 ・ 中 間 評 価							
計画額	令和元年度	令和2年度(予算額)	令和3年度(予算額)	令和4年度(予算額)	令和5年度(予算額)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	749,599千円	679,010千円	633,647千円	716,218千円	773,537千円	776,543千円	807,934千円	807,934千円	807,934千円	807,934千円
取組内容、数値目標及びスケジュール(単年度)	・区画整理事業施行地区等、配水管の整備が必要な路線6.94kmを耐震管により整備します。 ・工事施工にあたり、濁り水発生、出水不良及び交通渋滞等を抑制するため、施工業者と綿密に施工方法、施工体制を確認します。 ・区画整理事業施行者や他企業者と工事が競合する場合などは、工事時期や施工方法等の調整を図り、効率的に工事を実施します。	・区画整理事業施行地区等、配水管の整備が必要な路線5.08kmを耐震管により整備します。 ・工事施工にあたり、濁り水発生、出水不良及び交通渋滞等を抑制するため、施工業者と綿密に施工方法、施工体制を確認します。 ・区画整理事業施行者や他企業者と工事が競合する場合などは、工事時期や施工方法等の調整を図り、効率的に工事を実施します。	・区画整理事業施行地区等、配水管の整備が必要な路線4.86kmを耐震管により整備します。 ・工事施工にあたり、濁り水発生、出水不良及び交通渋滞等を抑制するため、施工業者と綿密に施工方法、施工体制を確認します。 ・区画整理事業施行者や他企業者と工事が競合する場合などは、工事時期や施工方法等の調整を図り、効率的に工事を実施します。	・区画整理事業施行地区等、配水管の整備が必要な路線4.41kmを耐震管により整備します。 ・工事施工にあたり、濁り水発生、出水不良及び交通渋滞等を抑制するため、施工業者と綿密に施工方法、施工体制を確認します。 ・区画整理事業施行者や他企業者と工事が競合する場合などは、工事時期や施工方法等の調整を図り、効率的に工事を実施します。	・区画整理事業施行地区等、配水管の整備が必要な路線4.51kmを耐震管により整備します。 ・工事施工にあたり、濁り水発生、出水不良及び交通渋滞等を抑制するため、施工業者と綿密に施工方法、施工体制を確認します。 ・区画整理事業施行者や他企業者と工事が競合する場合などは、工事時期や施工方法等の調整を図り、効率的に工事を実施します。	・区画整理事業施行地区等、配水管の整備が必要な路線4.56kmを耐震管により整備します。 ・工事施工にあたり、濁り水発生、出水不良及び交通渋滞等を抑制するため、施工業者と綿密に施工方法、施工体制を確認します。 ・区画整理事業施行者や他企業者と工事が競合する場合などは、工事時期や施工方法等の調整を図り、効率的に工事を実施します。	・区画整理事業施行地区等、配水管の整備が必要な路線6.20kmを耐震管により整備します。 ・工事施工にあたり、濁り水発生、出水不良及び交通渋滞等を抑制するため、施工業者と綿密に施工方法、施工体制を確認します。 ・区画整理事業施行者や他企業者と工事が競合する場合などは、工事時期や施工方法等の調整を図り、効率的に工事を実施します。			
総事業費		2,528,776千円	終 了 時 評 価							
決算額	708,219千円	500,264千円	609,560千円	710,733千円						
達成状況	・土地区画整理事業地区等に新たな配水管を、予定路線6.94kmに対し、約6.33kmを耐震管により整備した。執行率は延長ベースで約91%であった。 ・工事施工にあたり、濁り水発生、出水不良及び交通渋滞等を抑制するため、施工業者と事前に施工方法、施工体制を確認し、大きな事故等が発生せずに工事が完了した。 ・土地区画整理事業施行者及び他の関係機関と協議・調整を行い、効率的に工事が完了した。 ・漏水改善等として、予定路線以外においても新たな配水管を耐震管により整備した。(1件、130m、13,837千円)	・区画整理事業施行地区等、配水管の整備が必要な予定路線5.08kmに対し、約4.09kmを耐震管により整備しました。執行率は延長ベースで約81%です。 ・請負残額等による予算残額を活用し、関係機関からの要望により約0.35kmを耐震管により整備しました。	・区画整理事業施行地区等、配水管の整備が必要な予定路線4.86kmに対し、約4.47kmを耐震管により整備しました。執行率は延長ベースで約92%です。 ・工事施工にあたり、交通渋滞等がないように、事前に施工方法、施工体制を確認し、事故等もなく工事を行いました。 ・区画整理事業施行者及び他の関係機関と協議・調整を行い、効率的に工事を行いました。	・区画整理事業施行地区等、配水管の整備が必要な予定路線4.41kmに対し、約4.00kmを耐震管により整備しました。 ・工事施工にあたり、交通渋滞等がないように、事前に施工方法、施工体制を確認し、事故等もなく工事を行いました。 ・区画整理事業施行者及び他の関係機関と協議・調整を行い、効率的に工事を行いました。						